



ロータリー:
変化をもたらす

国際ロータリー第2500地区第3分区
Asahikawa Morning Rotary Club
旭川モーニングロータリークラブ会報



ホームページ <http://www.asahikawamrc.com/>

1月の月間テーマ 職業奉仕月間

本日の例会プログラム 会員スピーチ

第1158例会 No. 25

平成30年1月25日(木) AM7:30~

場所 アートホテル旭川 2F ローアン



会長挨拶

安井 裕子 会長

改めましておはようございます。日本列島に大寒波が押し寄せてきていますが、皆さん体調管理は充分でしょうか? ご自愛下さい。

2月9日から開催されるピョンチャンオリンピックですが多くの北海道の

選手の出場が予定されています。4年に一度の大きな舞台で輝くアスリートにスポットを当ててみました。

スキージャンプ(女子)伊藤有希、勢藤優花、そして高梨沙羅、同じく(男子)葛西紀明、伊藤大貴、カーリングの吉田夕梨花・知那美、ノルディック複合の加藤太平、クロカン石田正子、スピードスケート高木美帆・菜那、そしてスノーボード竹内智香ざっと北海道出身の選手たちです。

楽しみは、メダルに注目が集まります。

やはり、この人葛西紀明です。レジェンドと呼ばれつつも、銀メダルに悔しがる姿が忘れられません。今回も取ってくれると思います。

スキージャンプの高梨沙羅はソチでは4位、世界選手権では伊藤有希に抑えられ伊藤が銀メダルを取りました。ワールドカップで順調だっただけに残念でした。

しかしワールドカップでは強さを見せつけていて17戦中14勝で総合優勝を果たしています。一発勝負のオリンピックより、ワンシーズンを通して勝ち続けなければならないワールドカップでの成績のほうが評価が高く、彼女の成績はまさに前代未聞なんだそうです。

5度目の出場となるスノーボード竹内智香はどのような場面を見せてくれるかが楽しみです。

オリンピックには魔物が住んでいると位予測が不可能。期待して楽しみたいものです。

◆ニコニコボックス◆

坂本 信一 親睦委員長

1. 笹川 和廣 突然体調不良を起こし、ご迷惑をおかけ掛けました。

ニコニコボックス 1月25日 1件2,000円
年度累計金額 212,000円



会務報告

林 雅美 (代理)

1. 国際ロータリー第2510地区、札幌モーニングクラブより、会報No1373~1380收受。
2. 市内ロータリークラブより、2月中例会変更通知

收受。

2月1日 (木)	旭川東 RC	夜間例会	アートホテル
2月6日 (火)	旭川西 RC	夜間例会	グランドホテル
2月6日 (火)	旭川空港RC	移動例会	東神楽町商工会1F
2月8日 (木)	旭川東北RC	早朝例会	トーヨーホテル
2月13日 (火)	旭川西 RC	休 会	グランドホテル
2月14日 (水)	旭川北 RC	休 会	グランドホテル
2月15日 (木)	旭川東 RC	夜間例会	アートホテル
2月15日 (木)	旭川東北RC	夜間例会	トーヨーホテル
2月16日 (金)	旭川 RC	夜間例会	グランドホテル
2月19日 (月)	旭川南 RC	夜間例会	アートホテル
2月20日 (火)	旭川空港RC	移動例会	東神楽町商工会1F
2月21日 (水)	旭川北 RC	夜間例会	グランドホテル

出席報告 小林 睦明 例会運営委員

本日の出席	第1158回例会 総員27名 1月25日 出席18名 出席率 66.67%
修正出席	第1156回例会 総員26名 1月11日 出席24名 修正出席率 92.31%
ビジター	ございません。
ゲスト	ございません。
メイクアップ	1月24日 高見 一典(旭川北RC)

委員会報告



会員組織委員会

河崎 高麗雄 委員長

・新会員の伊藤吉洋さんのキットウ(株)の職業分類について、皆さんからご意見を頂戴しました。その結果、賛成多数により、介護福祉事業といたします。



国際奉仕委員会

竹澤 元男 委員長

・私達は2017年11月10日よりタイ国、D3330地区タイ・ナコンシータマラート地域を訪問し、これまでご支援を続けてきた水の浄化装置の完成式に出席してきました。その際のことです。

福岡県柳川高校附属タイ中学校を経営するテムラック・チャオ氏は、かつてロータリー米山記念奨学生として、金沢RC・金沢星陵大学で学生時代を過ごしました。彼はやがて故郷に戻り、社会に役立つ人間になりたいと誓いました。現在、彼の経営する中学校の前には日本の鳥居が建っています。我々は、鳥居があるなら提灯を下げたら良いのではと申し上げ、さっそく30ヶをアマゾンで購入しテムラック・チャオさんに送った所、その提灯に柳川と記入したものの写真が送られてきました。



(編集注：ロータリーの友
2017年1月号にテムラック・

チャオ氏が紹介されていたので巻末にコピーをつけておきました)

新会員スピーチ

橋本 忍 会員



おはようございます。
ArchiForest sh+の橋本です。
この度、新規入会しました3名のトップバッターとして当事務所についてスピーチさせていただきます。不慣れなためお聞き苦しい点が多々あることと存じますがお許し下さい。
私、橋本はアーキフォレストエスエイチプラスと言う建築設計事務所の主宰をしております。事

務所と言いましても私一人で営んでいる個人事務所のため、ここでは私の簡単な経歴と合わせて事業内容等をご説明させて頂きたいと思います。

私は建築の学校を卒業後、市内のゼネコン・設計事務所にて約17年ほど公共・民間物件の設計・監理業務に携わり建築のノウハウを学びました。特に設計事務所に在職中は事務所所長・職人さんには多くのご指導を頂きその時の経験が設計業務における礎となっています。

その後、平成26年6月に設計事務所を退職し現在の事務所を独立開業しました。創業3年半足らずの事務所ではありますが、周囲の協力もあり住宅8棟、共同住宅2棟、診療所1棟、事務所2棟の設計を任せて頂きました。

当事務所の主な事業内容として、住宅・共同住宅・店舗・診療所・福祉施設等の資金計画・設計監理・リノベーション・省エネ計算を行っており、特に建築物の省エネ性能・リノベーションに注力しています。

何故そこに注力しているかと申しますと現在の日本社会は度重なる震災・気象変動により地球環境保護の観点から消費型社会から循環型社会へ向おうとしています。そして、少子高齢化の到来による職人不足、公共事業の縮小など建築を取り巻く社会情勢は日に日に厳しくなっています。このような状況の中で建築はスクラップ&ビルドからストック&リノベーションへと大きく変化を遂げてきています。これからの建築は従前以上に長寿命・メンテナンス性・フレキシビリティ・省エネルギーそして周辺環境への配慮が不可欠だと考えたからです。

発注者や社会のニーズも多様化し、様々な知識や技術が要求される場面が御座いますが、今までに亘って蓄積した技術力と創造力を十分に発揮し、新しい技術・幅広い発想力で皆様のご期待と信頼にお応えするべく、今後も精進していく所存です。

今後のArchiForest sh+にご期待下さい。

質疑応答

▼旭川の街については?

「生粋の旭川っ子として、少ない地震、明瞭な四季の変化、アウトドアスポーツの好適地、山や川はもちろん海もそう遠くないなど、ひじょうに恵まれた地域だと思います。ただ、これは行政にも関係しますが、情報の発信力不足を感じています。豊かな農畜産物・海産物やウインタースポーツの情報を、道外や海外に向けて発信し魅力をアピールする余地が大きいと思います。」

▼設計事務所の主催者として抱負は?

「前職では、公共施設の箱物をはじめ、様々な建築物の設計監理業務に携わりました。そうしているうち、建物を実際に使うエンドユーザーさんに密着した設計というものに、強く魅力を感じて、独立することに決めました。冬の寒さの厳しい旭川市において、特に省エネルギーに特化した住宅の設計に意義を感じています。」

▼出身校など?

「母校は旭川工業高校建築科出身です。家族は妻と二人。趣味は山登り(年に10回程度)です。火山は避けていますが(笑)」

▼サウスポー?

「もともと左利きです。学生時代は、用意されていた製図機械が右利き用のみで不便でした。現在は両利きになりましたので、利き手を気にされる年配のクライアントの前では、右利きで対応します(笑)」





受付・新会員勢揃い 橋本、伊藤、朝倉、坂本、小林、渡邊



四つのテスト 飛弾野



竹澤、坂本、武田



小林、河崎



小柳、高見



渡邊、朝倉、嵯城



笹川、伊藤、橋本



石川、飛弾野



林、安田、中岡



“よねやま”から広がる新しい世界 ⑬

感謝の心は 20 年の時を経て



金沢 R C
(第 2610 地区 石川県)

国際奉仕委員長
松崎 充意 さん

思いがけない訪問者

テムラック・チャオさんから「訪問したい」とクラブ事務局に連絡が来たのは 2012 年 7 月。チャオさんは、私の入会前、今から 20 年以上も前の米山奨学生です。

「へえ、そんなに昔の米山奨学生が？ タイからわざわざ？」。思いがけない訪問の打診に、ちょっとしたざわめきが広がりました。これまで、元青少年交換学生が再来日して訪問してくれた例はありましたが、元米山奨学生の訪問は、ほとんど記憶にありません。

数日後、チャオさんが例会場にやってきました。私も含め、ほとんどの会員が会うのは初めてです。卒業後、カウンセラーやその家族には時々連絡をしていたようですが、カウンセラーが体調を崩してからは、チャオさんの消息を知る会員はほとんどいませんでした。

話を聞くと、チャオさんは奨学生時代、「帰国後はロータリークラブの会長になる」と宣言し、約束通り、タイのポーサテッドナコンシー・ロータリークラブ (RC) の会長に就任。それを知らせるため、金沢に来たと言うのです。こんなに長い年月、われわれの知らないところで、彼の心の中にロータリアンとの約束が生き続けていたのか……。そう思うと、当時を知らない私も、胸が熱くなりました。

再び動きだした二国間の交流と活動

この訪問を機に、チャオさんとわれわれの時計の針が再び動き出し、チャオさんを振り子として、ポーサテッドナコンシー RC と金沢 RC との交流が始まったのです。

2013 - 14 年度には、タイの人たちと計 2,000 本のマングローブの苗を植樹。14 - 15 年度の金沢 RC 創立 80 周年記念式典には、チャオさんを含め、タイから

会員ら 8 人が出席。15 - 16 年度はグローバル補助金を活用し、タイの 5 つの小学校に浄水器を設置するため、家族を含め総勢 20 人が渡航。かつて、国際奉仕活動にこれほど多くが一斉に参加したことはなく、チャオさんの人柄と熱意がわれわれを動かしているのだと感じています。

海外のクラブとの事業には困難が付きものです。スケジュール通りに物事が運ばなかったり、双方の認識に食い違いが生じたり。そんな時、日本語だけでなく、日本の社会習慣を熟知するチャオさんが間に立って尽力してくれたおかげで、浄水器寄贈の際には、タイの子どもたちのうれしそうな笑顔を見ることができ、先生や地域の人たちから口々に感謝の言葉をもらいました。これは何にも代え難い幸せな体験でした。チャオさんがいなければ、チャオさんが訪ねてきてくれなければ、実現することはありませんでした。

国際交流はやはり素晴らしい。交流の中で互いのアイデンティティーを知り、相手の国や文化を大事に思うきっかけとなります。ここ数年、金沢 RC は世話クラブを務めていませんが、もっと米山奨学生と交流したいという思いが強くなってきました。米山奨学生は、ほとんどが大学生、大学院生であり、母国のことや彼らの研究について語り合うなど、大人同士の付き合いができることも大きな魅力の一つです。

われわれは今後もチャオさん、ポーサテッドナコンシー RC と末永く付き合っていきたいと願っています。ありがとうございます。そして、これからもよろしく。



子どもたちの笑顔に迎えられたタイへの訪問

元米山奨学生からの連絡がない、カウンセラー退会後は消息がわからないといった事例をよく耳にします。彼らは会員との思い出や感謝の気持ちを忘れてしまったのでしょうか。タイ出身の元奨学生テムラック・チャオさんは卒業後、世話クラブとの連絡をほとんど取っていませんでしたが、20年後、「ロータリークラブの会長になる」という約束を果たし、世話クラブに報告にやってきました。絆という名の時計の針は、再び動き出したのです。



米山学友
テムラック・チャオさん

出身：タイ
奨学期間：1993 - 95
学校名：金沢星稜大学

感謝と後悔、そして新たな喜び

米山奨学金の面接を受けたのは1995年。「卒業後、何をしますか」と聞かれ、「故郷に戻り、役に立つ人間になりたい」と答えたのを覚えています。面接官だった金沢RCの松本静夫さんは私のカウンセラーとなり、身元保証人にもなってくれました。素性もわからない留学生の私を信頼してくれたことが、ただただうれしく、卒業後は必ず恩返しをしよう、自分もロータリーに入り、会長になろうと誓いました。

卒業後、オーストラリアで情報技術を学び、2000年にタイへ帰国。日タイの懸け橋になりたかった私は、両国の事業投資に関する交渉や、日本企業へのコンサルティング業務などを行う会社を設立しました。

2006年、ついに念願のロータリアンになりました。所属クラブは第3330地区のポーサテッドナコンシーRCです。12年7月、クラブ会長に就任した時、真っ先に思い浮かんだのは金沢RCのことでした。すぐに日本へ行きましたが、体調を崩していた松本さんに会うことはできず、そのまま永遠の別れとなりました。

日本の父親だった松本さんに、最期にお礼を言えなかった後悔が、今も心に残っています。

一方で、来日を機に金沢RCと協同で奉仕活動を行う機会を得ました。浄水器設置事業では、タイの子どもたちが安全な水を飲めるようになり、保護者も先生も大変喜んでいました。そんな姿を見ることが私の喜びですし、日本人たちの気持ちをありがたく思います。

日本の良さをタイの若者たちへ

また、タイ日人材育成協会の会長として、この10年間で350人ほどの学生を日本に送り出しました。受け入れ先の一つ、福岡県の柳川高等学校とは昨年5月、「柳川高校附属タイ中学校」を設立しました。日本語はもちろん必修科目です。私はタイ側の統括責任者として、一人でも多くの若者を日本に留学させたいと思っています。目標は東京オリンピックの2020年、日本へ1,000人の留学生を送ることです。

金沢RC、そして米山奨学金のおかげで人生が開けました。人間は共に助け合わなければならないことを、日本で学びました。これからも日本の良いところをタイに広め、若者を育てていきたいと思っています。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または“よねやまだより”についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



韓国米山学友会の発展に期待 —— 日本人留学生への奨学支援もスタート

11月19日、ソウル市で韓国米山学友会の定期総会が開かれ、学友約70人のほか、小沢一彦当会理事長や第3650地区の朴虎君ガバナーら韓国のロータリー関係者、台湾米山学友会、関西米山学友会役員などが出席しました。韓国米山学友会では昨年5月から韓国の大学で学ぶ日本人留学生2人を奨学支援しており、その奨学金授与式も行われました。学友からは「米山との絆が深まるのはうれしい」「多くの人の支援を得て、学友会が発展していけると感じた」など、喜びと期待の声が聞かれました。今後は会員を増やし、役員が交代しても活動が継続できるよう組織のシステムを整え、会員同士の連携・連帯を強めていく方針を掲げています。

